

4 - 5 東海地方一等三角測量結果

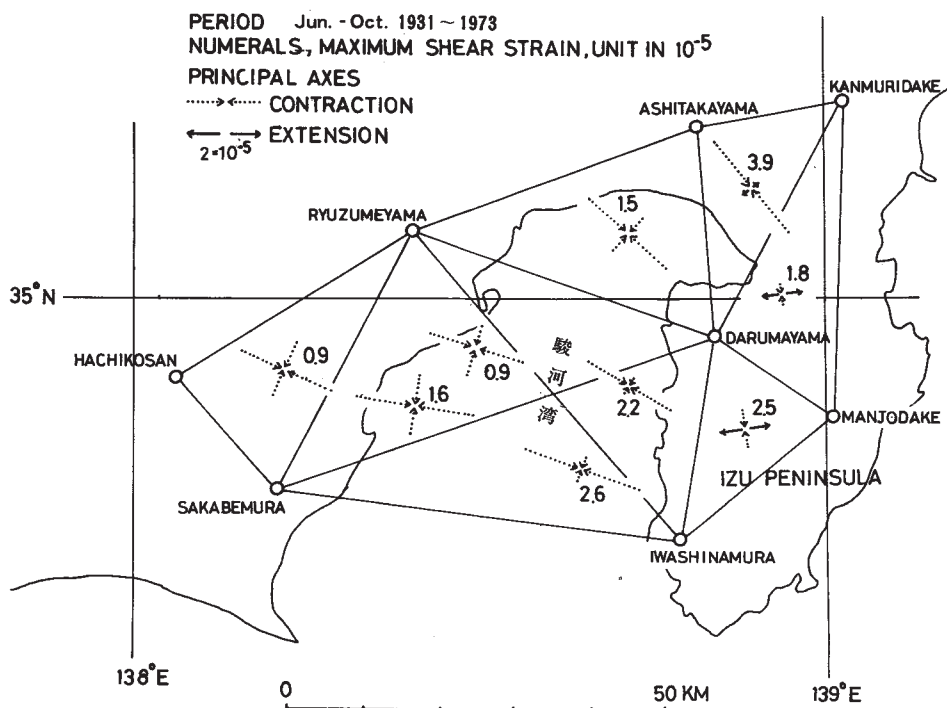
First Order Triangulation in Tokai District

国土地理院 測地部・地殻活動調査室
 Geodetic Division and Crustal
 Activity Research Office, Geographical
 Survey Institute

昭和48年8月～12月に東海地方一等三角測量が実施された。従来一等三角測量は測定量が角度であったが、今回はジオジメーターによる距離測定を主体としている。今回一等三角測量が実施された地域は、北伊豆地震（M = 7.0, 1930年）直後の昭和6年6月～11月に改測されている。

新旧両結果とも測定精度は、おゝむね良好であるが、測定誤差が作り出すみかけ上の最大剪断歪は約 1.5×10^{-5} 程度である。

新旧の測量結果から計算された歪が第1図に示されている。駿河湾西側において、主歪の長軸および短軸方向共に縮みをあらわしている。これは旧測量結果の平均計算の処理に問題が含まれているためと思われる。



第1図 東海地方における水平歪（1931～1973）

Fig. 1 Horizontal strain in Tokai district (1931 ~ 1973)